

# 第2期古賀市国民健康保険 保健事業実施計画 (第2期古賀市国保データヘルス計画)

## 策定中間報告

2018（平成30）年1月29日現在  
古賀市国民健康保険

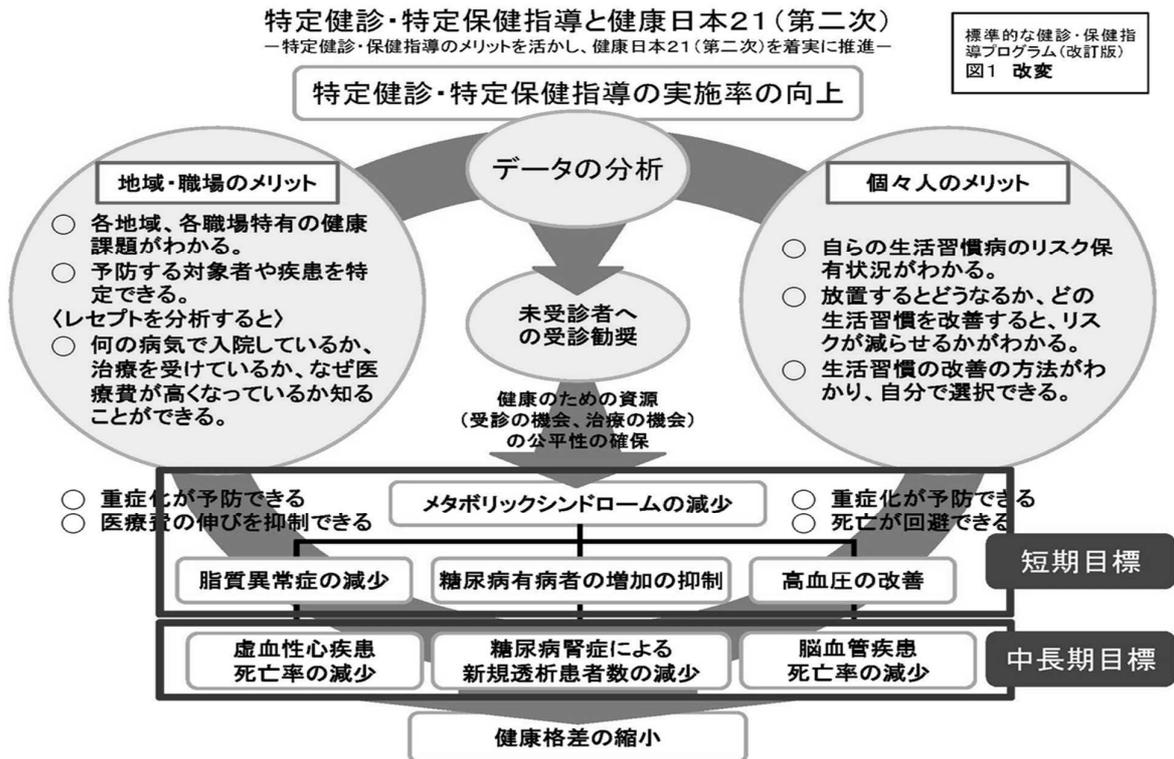
1

## 第1期データヘルス計画の概要



2

# 目指すべき方向性



## 第1期データヘルス計画における保健事業

1. 特定健康診査等未受診者勧奨事業  
 被保険者の健康状態を把握し、生活習慣病の早期発見と重症化予防につなげるため、受診率の向上を図る。
2. 特定保健指導等未利用者勧奨事業  
 被保険者の健康状態を把握し、生活習慣病の早期発見と重症化予防につなげるため、保健指導の実施率向上を図る。
3. 生活習慣病重症化予防事業  
 生活習慣病重症化リスクの高い被保険者を対象に、医療機関の受診勧奨や保健指導を行い、生活習慣病の重症化を予防する。

# 第1期データヘルス計画の評価

## 《特定健康診査》

特定健康診査受診率は増加傾向にあるが、国の目標である60%を達成していない

→更に特定健康診査の受診率を向上させる必要がある

図表 9 特定健康診査の推移(古賀市)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
特定健診	対象者数	8,265人	8,420人	8,554人	8,804人	9,025人	9,213人	9,196人	9,098人	8,809人	実施中	
	受診者数	1,803人	2,218人	2,039人	2,103人	2,184人	2,333人	2,279人	2,625人	2,765人		
	受診率	古賀市	21.8%	26.3%	23.8%	23.9%	24.2%	25.3%	24.8%	28.9%		31.4%
		県平均	23.7%	25.4%	26.5%	27.8%	29.8%	29.8%	31.2%	31.5%		32.3%
		国平均	30.8%	31.4%	32.0%	32.7%	33.7%	34.3%	35.4%	36.3%		集計中
(参考) 県内順位	48位	39位	47位	50位	51位	48位	52位	51位	42位			

※県内順位は、福岡県国民健康保険団体連合会が算出したものを参考地として掲載

出典：法定報告

5

## 《特定保健指導》

本市は特定保健指導実施率が50%を超えており、平成27年度は国の目標値である60%を達成している。

しかし、特定健康診査受診率が低く、健診受診後の結果説明等の保健指導に対する市民の認知度が低い

→特定保健指導対象者への利用勧奨や保健指導を受けやすい環境を整備する必要がある

図表 14 特定保健指導の推移(古賀市)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
特定保健指導	対象者数	338人	308人	255人	271人	253人	273人	294人	317人	341人	実施中	
	実施者数	124人	199人	176人	181人	132人	151人	150人	219人	173人		
	実施率	古賀市	36.7%	64.6%	69.0%	66.8%	52.2%	55.3%	51.0%	69.1%		50.7%
		県平均	26.9%	39.0%	36.7%	35.6%	39.3%	41.2%	41.1%	43.0%		41.7%
		国平均	14.8%	21.4%	20.8%	21.7%	23.2%	23.7%	24.4%	25.1%		集計中
(参考) 県内順位	31位	12位	8位	12位	29位	30位	37位	18位	37位			

※県内順位は、福岡県国民健康保険団体連合会が算出したものを参考値として掲載

出典：法定報告<sup>6</sup>

## 《その他保健指導》

特定健康診査の結果において、糖尿病・高血圧・脂質異常症に関する重症化リスクが高い未治療者が多い

→医療・介護の観点から、医療機関への受診の促しや生活習慣の改善など、対策を強化する必要がある

図表 19 糖尿病の状況

	レセプト情報									特定健診結果									
	被保険者 (40歳以上)		糖尿病 患者数 (様式3-2)			40-64歳			65-74歳			健診 受診者	受診率	HbA1c 6.5以上		再掲			
						被保険者		患者数		被保険者						患者数		HbA1c7.0以上	
	A	B	B/A	C	D	D/C	E	F	F/E	G	H	I	I/G	J	J/G	K	K/I		
2013(H25) 年度	10,250人	1,803人	17.6%	4,844人	485人	10.0%	5,406人	1,318人	24.4%	2,333人	25.3%	152人	6.6%	79人	3.4%	37人	46.8%		
2016(H28) 年度	9,763人	1,960人	20.1%	3,987人	448人	11.2%	5,776人	1,512人	26.2%	2,765人	31.4%	203人	7.5%	102人	3.8%	45人	44.1%		

出典:KDB システム帳票 厚生労働省様式 3-2~3-4(毎年度5月診療分(KDB7月作成分))  
保健指導支援ツール(25年度・28年度法定報告値で計上)

7

## 《医療》

総医療費の内訳では、総医療費のうち約17億円が生活習慣病関連疾患に該当している。

図表 26 総医療費の疾病別内訳

	総医療費	生活習慣病関連疾患		精神疾患		その他	
		費用額	割合	費用額	割合	費用額	割合
2016(H28) 年度	42億8,936万円	17億3,906万円	40.9%	4億6,183万円	9.8%	20億9,368万円	49.3%

出典:KDB システム(医療費分析(年度累計))

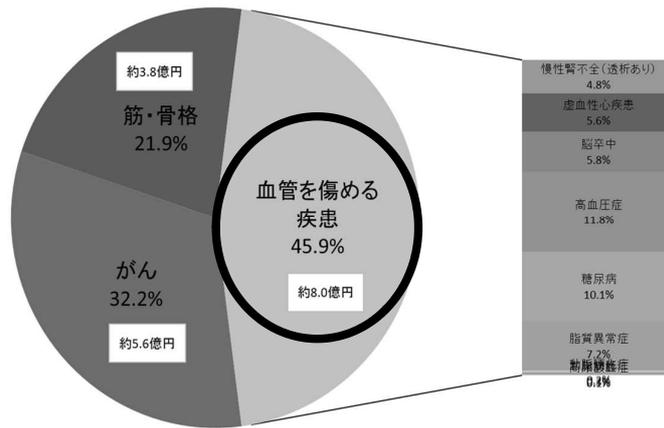
8

# 《医療》

生活習慣病関連疾患のうち、約8億円が高血圧や糖尿病などの生活習慣病に該当する

→軽症のうちに外来治療につなぎ、治療継続の動機づけを行うとともに、生活習慣を改善できるよう保健指導を行う重症化予防対策が必要である。

図表〇 生活習慣病関連疾患医療費の疾病別内訳(2016(平成28)年度)



出典:KDB システム(医療費分析(年度累計))

9

# 《医療》

人工透析患者の46.7%に糖尿病の診断がある

→早期からの糖尿病の発症予防と血圧のコントロールも含めた重症化予防対策が重要である

図表 36 人工透析の状況

	被保険者数		人工透析患者数(様式3-7)		糖尿病あり		透析医療費		新規患者数		糖尿病あり		健診未受診(当該年度を含め3年間)	
	A	B	B/A	人数	割合	医療費	伸び率	C	C/B	D	D/C	E	E/D	
	25年度	14,073人	20人	0.14%	11人	55.0%	1億2658万円	--	6人	30.0%	5人	25.0%	5人	100.0%
26年度	13,838人	20人	0.14%	11人	55.0%	1億0370万円	22.06	3人	15.0%	3人	15.0%	3人	100.0%	
27年度	13,594人	16人	0.12%	9人	56.3%	7億0696万円	△ 85.33	6人	37.5%	5人	31.3%	5人	100.0%	
28年度	12,908人	15人	0.12%	7人	46.7%	1億0194万円	593.51	6人	40.0%	4人	26.7%	2人	50.0%	

出典:KDB システム

厚生労働省様式 3-5~3-7(毎年度5月診療分(KDB7月作成分))

厚生労働省様式 1-1(年度累計)

保健事業等評価・分析システム 新規患者数

10

# 《介護》

要介護認定率は年々減少するも、要介護認定者の血管疾病の有病状況が高くなっている

→基礎疾病である高血圧、糖尿病、脂質異常症等の生活習慣病の発症予防及び重症化予防の対策が重要である

図表 38 血管疾患の視点でみた要介護者の有病状況(2016(平成28)年度)

要介護認定・レセプト突合状況	受給者区分		2号				1号				合計	
	年齢		40～64歳		65～74歳		75歳以上		計			
	介護件数(全体)		51		298		1,712		2,010		2,061	
(レセプトの診断名より重複して計上) 有病状況	再) 国保・後期		27		237		1,607		1,844		1,871	
	循環器疾患	疾患	脳卒中	16 59.3%	脳卒中	96 40.5%	脳卒中	732 45.6%	脳卒中	828 44.9%	脳卒中	844 45.1%
		2	虚血性心疾患	8 29.6%	虚血性心疾患	76 32.1%	虚血性心疾患	699 43.5%	虚血性心疾患	775 42.0%	虚血性心疾患	783 41.8%
		3	腎不全	4 14.8%	腎不全	33 13.9%	腎不全	227 14.1%	腎不全	260 14.1%	腎不全	264 14.1%
	基礎疾患(*2)	糖尿病		12 44.4%	糖尿病	122 51.5%	糖尿病	824 51.3%	糖尿病	946 51.3%	糖尿病	958 51.2%
		高血圧		19 70.4%	高血圧	161 67.9%	高血圧	1305 81.2%	高血圧	1466 79.5%	高血圧	1485 79.4%
		脂質異常症		10 37.0%	脂質異常症	129 54.4%	脂質異常症	876 54.5%	脂質異常症	1005 54.5%	脂質異常症	1015 54.2%
		血管疾患合計		23 85.2%	合計	207 87.3%	合計	1482 92.2%	合計	1689 91.6%	合計	1712 91.5%
	認知症		6 22.2%	認知症	49 20.7%	認知症	741 46.1%	認知症	790 42.8%	認知症	796 42.5%	
	筋・骨格疾患		20 74.1%	筋骨格系	185 78.1%	筋骨格系	1447 90.0%	筋骨格系	1632 88.5%	筋骨格系	1652 88.3%	

※新規認定者についてはNO.49.要介護突合状況の「開始年度月日」を参照し、年度累計を計上  
 ※基礎疾患のうち、糖尿病については、糖尿病の合併症(網膜症・神経障害・腎症)も含む

出典:福岡県国民健康保険団体連合会作成資料(平成28年度11月28日時点、参考値として掲載)

## 第2期データヘルス計画の概要

### 1. 目的

健康・医療情報を活用してP D C Aサイクルに沿った効果的かつ効率的な事業の実施を図る

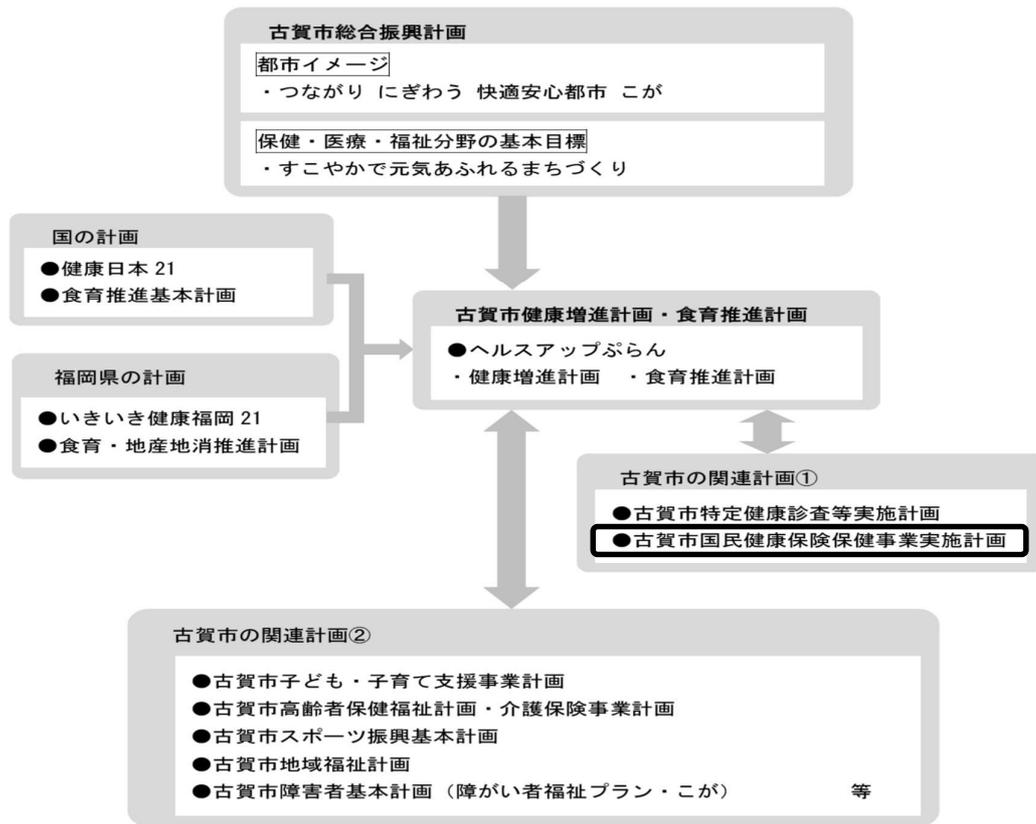
### 2. 位置づけ

特定健康診査等実施計画をはじめとする市の関連計画との整合性や、国・県の計画と調和を図る。

### 3. 計画期間

2018(平成30)年～2023(平成35)年度の6年間

(参考) データヘルス計画の位置づけ



ヘルスアッププラン（古賀市健康増進計画・食育推進計画）より引用